

新学術領域研究「グローバル関係学」

若手研究者報告会

日時 2018年2月3日(土)・4日(日) 開場 9:00 開始 9:30~18:40

場所 早稲田大学 早稲田キャンパス内 11号館701号室

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

文科省科学研究補助金 新学術領域研究

「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立」

(略称「グローバル関係学」)は、平成28年度より、

千葉大学、東京外国語大学、立命館大学などの社会科学、人文科学の最先端の学者を結集し、

「グローバル関係学」という新たな研究領域の確立を目指して研究を進めています。

「グローバル関係学」が問題視するのは、現在、中東やアフリカ、アジアや南東欧など、世界各地での紛争、対立が、情報や思想・モノやカネ・人の移動のグローバル化などの影響を受け、複雑に絡み合うことによって、国際的な危機をもたらしていることです。

こうした現代的諸問題が示すのは、20世紀までの主権国家とそれを軸とした国際社会という近代社会科学的「常識」が崩壊し、社会の安定と発展を確保してきた諸制度が機能不全に陥っているという、危機的な事実です。しかし、こうした「新しい危機」ともいえる事象について、分野横断的な包括的視座をもって分析した研究は、いまだ存在しません。危機に瀕している現代のグローバル社会の問題を読み解くには、主体そのものを分析の対象とするだけでなく、主体内部の関係性や、さまざまなレベル、規模の主体が相互に関係しあう、その関係性の変化と相互連関性を見ていくことが、必要です。「グローバル関係学」は、さまざまな関係性に光を当てた研究を、狭い範囲の共同体からグローバルなネットワークまで、幅広く行い、諸学問の壁を壊し、現実の危機にキャッチアップできる、新しい学問領域を構築することにほかなりません。

「グローバル関係学」事業では同種の問題意識、研究方向性を持つ若手の研究者の協力を、社会科学、人文科学、自然科学の分野を問わず、幅広く求めており、上記の日程で、「グローバル関係学若手研究者報告会」を開催いたします。

※タイムテーブルは裏面の通り



国立大学法人千葉大学
CHIBA UNIVERSITY

新学術領域研究「グローバル関係学」若手育成委員会



2018年2月3日(土) Feb.3 (Sat.)

司会進行 鈴木 絢女

- 9:30~9:40 酒井 啓子(千葉大学)開会の挨拶 opening remarks
- 9:40~10:20 梁 立成(千葉大学)「地域経済統合と企業の異質性に関する分析」
- 10:20~11:00 西 直美(同志社大学)「タイ深南部におけるイスラームとナショナリズム」
- 11:00~11:10【休憩 coffee break】
- 11:10~11:50 小山 友(千葉大学)
「国家形成とエスニック・マイノリティー現代オランダ社会にみるイスラム系移民の相克」
- 11:50~12:30 橋本 直子(Sussex大学)「なぜ国家は難民を受け入れるのか」
- 12:30~13:30【ランチタイム lunchtime】
- 13:30~14:10 藤井 広重(宇都宮大学)
「歩み寄るアフリカと国際刑事裁判所:再構築される関係性のパラドックス」
- 14:10~14:50 大平 和希子(東京大学)
「増加する土地問題と土地ガバナンス見直しの重要性:伝統的権威が果たせる役割の考察」
- 14:50~15:30 張 雲(公募者「H29年度公募研究採択」)(新潟大学)
「国際エピステミック・コミュニティと国際関係における相互認知再形成のメカニズム」
- 15:30~15:40【休憩 coffee break】
- 15:40~16:20 須永 修枝(東京大学)
「ロンドンでの「ソマリランダー(ソマリランド人)」によるコミュニティ団体活動に注目」
- 16:20~17:00 渡貫 諒(国際基督教大学)「国際法学における規範の選択問題」
- 17:00~17:40 ヘーゼルハウス ヘラト(筑波大学)「Narratives of Transnational Encounter」
- 17:40~17:50 酒井 啓子/石戸 光 閉会の挨拶 closing remarks

2018年2月4日(日) Feb.4 (Sun.)

司会進行 鈴木 絢女

- 9:30~9:40 酒井 啓子/石戸 光(千葉大学)開会の挨拶 opening remarks
- 9:40~10:20 水野 貴之(公募者「H29年度公募研究採択」)(国立情報学研究所)
“Exploiting global buyer-supplier networks to improve supply chain due diligence”
- 10:20~11:00 上原 健太郎(京都大学)
「イスラーム型マイクロクレジットをめぐる経済主体の連関とその意義:
現代マレーシアにおける動産担保貸付(Ar-Rahnu)に着目して」
- 11:00~11:10【休憩 coffee break】
- 11:10~11:50 Mammadov Alibay(北海道大学)
「アゼルバイジャン人のナゴルノ・カバフ紛争の捉え方
—アゼルバイジャン共和国の国内避難民への調査を元に」
- 11:50~12:30 宮地 隆廣(公募者「H29年度公募研究採択」)(東京大学)
「トランスナショナルな社会運動の隘路:ラテンアメリカ先住民運動を事例に」
- 12:30~13:30【ランチタイム lunchtime】
- 13:30~14:10 南波 慧(一橋大学)「構造的暴力としてのEU国境管理レジーム」
- 14:10~14:50 調整予定
- 14:50~15:30 Ozkan Esma(東京外国語大学)
“The Gezi Park Protests and Post-Protest Political Organization in Turkey”
- 15:30~15:40【休憩 coffee break】
- 15:40~16:20 Azar Meryam(東京外国語大学)“Political communication during the Syrian crisis”
- 16:20~17:00 村上 拓哉(中東調査会)「体制転換の脅威と君主制国家間同盟:
「テロリスト」認定を巡る湾岸諸国間のパワー・ポリティクスがもたらす新たな紛争」
- 17:00~17:10【休憩 coffee break】
- 17:10~17:50 岡部 友樹(京都大学)
「第二共和制レバノン(1990-)における権力分有体制と合意形成過程」
- 17:50~18:30 小林 周(日本エネルギー経済研究所)
「リビア周辺地域における「非統治空間」の発生と非国家暴力主体の越境活動」
- 18:30~18:40 酒井 啓子/石戸 光 閉会の挨拶 closing remarks